

平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 58

所管部局	企画管理部	所管課	企画推進課	担当者名	中島 しのぶ
事業名	パートナーシップ推進事業			事業分類	ソフト事業
細事業名	達人バンク推進事業			政策体系	435
会計	一般会計	科目	2.総務 - 1.総務 - 6.企画		

1. 事業の概要

市域に存在する多様な人材を掘り起こし、求める市民に情報を提供できる仕組みづくりを行うとともに、優れた技能等を持った市民が活躍できる場をつくる。

2. 事業の目的と必要性

①施策で目指す目標との関連付け

地域の伝統行事や伝統文化をはじめ、様々な分野の熟練者や後継者を登録してまちづくり等に登用できる人材制度の設置をめざす。

②事業を実施する必要性

多彩なアイデアや豊富な知識、優れた技能をもつ市民は多く存在するが、それらを発揮して活躍できる仕組みはなく、活発な市民相互の交流や支援の仕組みづくりが必要。

3. 事業費の推移

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額	千円				0	25	50	50
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円				0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円			0	0	0	0
	国・府支出金	千円			0	0	0	0
	地方債	千円			0	0	0	0
	一般財源	千円			0	25	50	50
職員等の従事人員	人/年	—	—		0.05			
人件費	千円	—	—		312			
事業費総額	千円	—	—		312			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

支出 なし

5. 事業結果の概要

達人バンク制度確立に向けて、ルールを整理を行った。
 市内高校の専門科の特長を活かし、ホームページによる「達人バンク」制度を周知し市民が楽しく活用できるサイトを作成に取り組んだ。

6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
(1) 制度の制定		
より多くの市民等が登録し、気軽に利活用できる「達人バンク」制度の制定		「達人バンク設置要綱」を策定した
(2) ホームページの作成		
市内高校の協力を得て、市民への周知と活用しやすい環境づくりのため、ホームページを作成する。	1～3月	京都聖カタリナ高等学校の協力をいただき、市民が親しみやすいホームページの作成を行った。

7. 所属長評価 [平成20年度から改善した点、今後の展開など]

専門的な知識、技能や優れた経験等を有している人材を発掘し、その情報を活用できる仕組みをつくるため「達人バンク」のホームページを構築した。今後、達人バンクへの登録、活用を推進することにより、生涯学習や様々なまちづくり活動への機会を広げる。

【参考】過年度の評価

■平成21年度の所属長評価

--